前進　やる気　こん気　勇気　　※学校ホームページにも掲載しています。



三気の門

PORTAL　SANKI

NO.24
2026.11.10
文責：佐藤正一

クマ対策はこうやってやるのがいい。

～長野県の燕山荘が日本一になったわけ～



今年度もクマが出没しています。青木小学校では町に出た子供のクマが目撃され、大騒ぎになりました。保見地区でも昨年度、多数の目撃情報が寄せられました。今年度も冬眠に備えてクマが現れるかもしれません。小原地区では家の扉を開けたとたんにクマに襲われて、大けがをした事例も出ています。クマ情報については、今後も分かり次第、きずなネットでお知らせします。

さて、先日、長野県で中学校校長会の全国大会が行われました。そこで長野県にある燕山荘の社長さんの話を聞く機会がありました。

燕山荘は北アルプスにある燕岳にある山小屋です。日本の山小屋ベスト1位に輝き続けています。山小屋経営の話から、学校経営に生かせることが多数あり、大変ためになる話でした。その時にクマの話が出ました。

燕岳は国の天然記念物の「ライチョウ」の生息地でしたが、近年、捕食獣に食べられて全滅する寸前まで行きました。捕食獣が山小屋近辺まで来るのは、人間が原因です。山登りの際に食べ物をごみとして捨てる。また、山小屋でも食べ物の廃棄物が原因となっていました。

クマもやってきます。ある時には山小屋の換気扇に付着している油汚れを舐めようとしたクマもいたそうです。最初はクマスプレーなどで追い払っていましたが、一番効果があったのは、ごみを出さないことだったそうです。

町ではごみを出さないということは、限界があるかとは思いますが、少なくとも、食べたものを放置する、道端へ捨てるような心のない行動はしないことが求められます。食べたパンの袋、コンビニおにぎりを包んだフィルム、から揚げを入れた袋等、臭いがするだけでクマは人里に降りてくるかもしれません。